

平成27年行政事業レビューシート

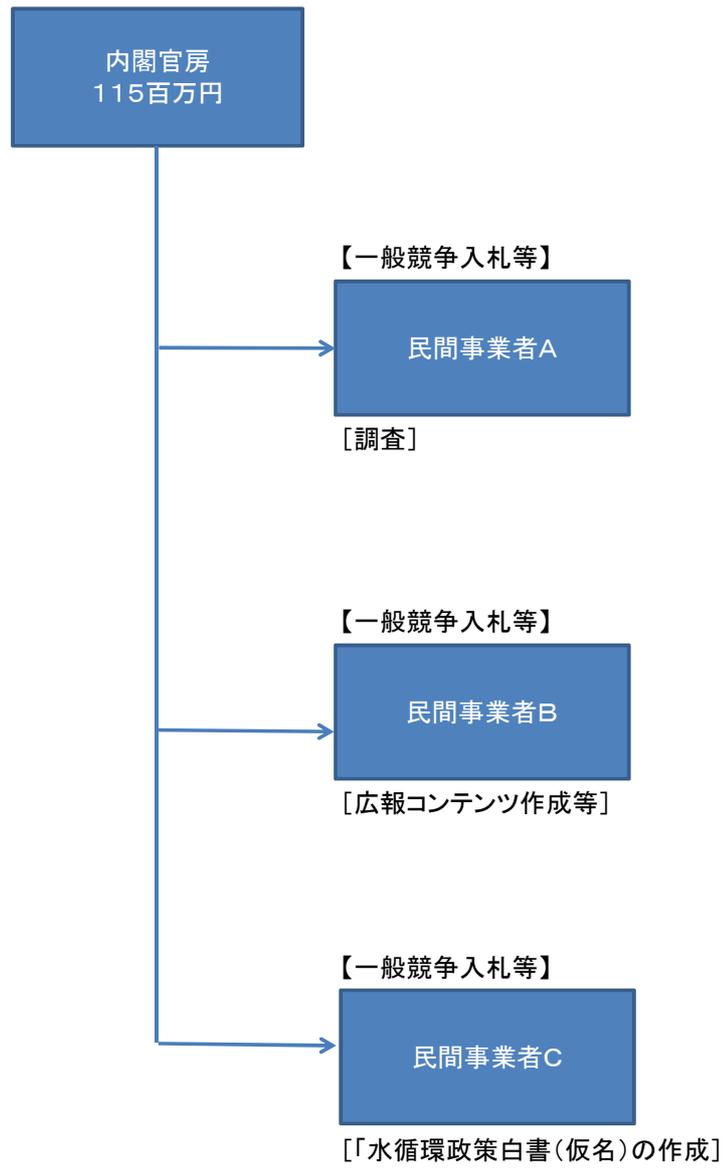
(内閣官房)

事業名	水循環推進経費		担当部局庁	内閣官房副長官補		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成27年度・終了(予定)なし		担当課室	水循環政策本部事務局		内閣参事官 廣木謙三		
会計区分	一般会計		政策・施策名	-				
根拠法令(具体的な条項も記載)	「水循環基本法(平成26年法律第16号)」		関係する計画、通知等	「経済財政運営と改革の基本方針2014」(平成26年6月24日閣議決定)				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3程度以内)	水循環に関する施策を総合的かつ一体的に推進し、もって健全な水循環を確保し、我が国の経済社会の健全な発展及び国民生活の安定向上に寄与することを目的とする。							
事業概要(5行程度以内。別添可)	水循環に関する施策について、水循環に関わる関係者の相互連携・協力の下、集中的かつ総合的に実施していくための課題の検討等を行う。また、一般の国民が水循環や地域の自然等との関わりなどを含めた水資源の重要性について学ぶことができるコンテンツを作成、配布するとともにセミナーを開催するなど、健全な水循環に関する普及を行う。さらに、政府の水循環施策について、広く国民に対して、理解と関心を深めるようにするため、「水循環政策白書(仮名)」の作成を行う。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額(単位:百万円)	予算の状況	当初予算	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度要求	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-	
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-	
		予備費等	-	-	-	-	-	
		計	-	-	-	-	115	
	執行額	-	-	-	-	-		
執行率(%)	-	-	-	-	-			
成果目標及び成果実績(アウトカム)	成果指標		<input type="checkbox"/> 成果実績 <input type="checkbox"/> 目標値 <input type="checkbox"/> 達成度	単位	23年度	24年度	25年度	目標値(年度)
	健全な水循環に関する施策の推進に向けた課題等を検討するための経費及び広報コンテンツ作成等のための経費であり、定量的な成果目標及び成果実績を定めることは困難である。			件	-	-	-	-
				%	-	-	-	-
					-	-	-	-
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		<input type="checkbox"/> 活動実績 <input type="checkbox"/> 当初見込み	単位	23年度	24年度	25年度	26年度活動見込
	・セミナー開催件数 ・「水循環政策白書(仮名)」作成数			件	-	-	-	-
				件	-	-	-	-
単位当たりコスト	算出根拠		<input type="checkbox"/> 単位当たりコスト <input type="checkbox"/> 計算式	単位	23年度	24年度	25年度	26年度活動見込
				百万円	-	-	-	-
				百万円/件	-	-	-	-
平成26・27年度予算内訳(単位:百万円)	費目	26年度当初予算	27年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	-	0.4	「新しい日本のための優先課題推進枠」100				
	職員旅費	-	1.0					
	委員等旅費	-	1.2					
	庁費	-	112.6					
	計	-	115					

事業所管部局による点検・改善						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		-	健全な水循環の確保に向けた取組は府省庁横断的に、地方公共団体や民間とも連携しながら、総合的に推進する必要があることから、国が主体に行うことが必要である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		-			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		-			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-			
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		-			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		-			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)					
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検・改善結果	点検結果	-				
	改善の方向性	事業の実施にあたっては、効率的な予算の執行に努める。				
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成24年	-	平成25年	-	平成26年	-

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

【新規事業のため現時点でのイメージ】



資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
 (単位: 百万円)